

通牒

○通第三三號

諸達廢止ノ件

(運轉課)

昭和三年二月達第六十一號列車運轉機關士報告取扱手續改正セラレタルニ付左記關係諸達ハ之ヲ廢止ス

一 大正十二年四月局報第五百九十七號通機關車廻送手續ニ就テ

一 昭和二年二月局報第二十四號雜列車牽引機關車ヲ以テ入換ヲ命ゼラレタル場合ノ仕業時間並同哩算出方ノ件 (同上)

一 大正十一年九月運第三百八十一號列車運轉機關士報告勤務時間計算方ノ件 (同上)

一 大正十五年十月運第六百六十五號機關車乘繼運轉ニ關スル各種報告類其ノ他取扱方ノ件 (同上)

雜錄

●列車運轉機關士報告舊用紙使用方

昭和三年二月達第六十一號ニ依リ列車運轉機關士報告様式改正セラレタルモ新用紙配給迄從來ノモノヲ使用セラルベシ

定價一箇月郵稅共 金六十三錢

編輯發行人 岩田定雄
東京府濱江邊十六番地
發行所 朝鮮總督府鐵道局

大分高等商業學校

・ 3.2.10

定期刊行物

朝鮮總督府

鐵道局報

第三百二十號

昭和三年二月十四日

火曜日

(大正十四年四月一日) 第三種郵便物認可

日刊(除日曜及祝祭日ノ翌日)

昭和三年二月十四日

鐵道局長

達示

○達第六十二號

大正十四年三月京鐵達第六百四十七號驛長線路工長間列車運轉關係事項知照手續中左ノ通改正ス

昭和三年二月十四日

鐵道局長

第九項最寄驛ニ電話ヲ有スル箇所ノ部中古站明川間ノ行ノ次ニ左記ヲ加フ

極洞鳳岡間

造幕山

極洞

第九項最寄驛ニ電話ヲ有セザル箇所ノ部中古州金松間ノ行ヲ左ノ如ク改ム

金松古站間

温水坪

古站

(規程類纂第三編運轉通信第五六ノ二ノ二頁參照)

○達第六十三號

昭和二年十二月達第千十八號釜山驛信號室草梁驛間電鈴合圖取扱方中「踏切警手詰所」ヲ「踏切方詰所」ニ「踏切警手」ヲ「踏切方」ニ改正ス

昭和三年二月十四日

第三百二十號

通牒

○通第三四號

(營業課)

省線秋葉原驛取扱貨物制限改正ノ件

東北本線秋葉原驛ニ於ケル取扱ヲ爲サザル貨物ノ品目ヲ左ノ如ク改正シタル旨通知アリタルニ付承知セラレタシ

鹽、間知石、割栗石、玉石、魚介蝦魚卵類(一、二級運賃ニ依ルモノ)、動物及家畜類(檻、籠等ニ容レザルモノ)、長五尺幅四尺高五尺(貨切扱發送金物類ニ在リテハ長二十尺)容積百立方尺重量千斤(貨切扱發送金物類ニ在リテハ一噸)ヲ超過スルモノ

○通第三五號

(營業課)

省線新驛營業開始

鐵道省ニ於テハ關西本線名古屋蟹江間ニ左ノ驛ヲ設置シ一般運輸營業ヲ開始セル旨通知アリタルニ付該驛ヲ當局線トノ連帶驛ニ追加セラレタルモノト心得フベシ哩程其ノ他左ノ如シ

五六〇七

停車場名	旅客運賃(釜山ヨリ)	旅各里程	小荷物運賃	貨物運賃
釜江 (既設)	一等	下關ヨリ	釜山ヨリ	下關ヨリ
八田	二等			
田	三等			
名古屋 (既設)				

○通第三六號

(營業課)

朝鮮鐵道株式會社貨物運賃及料金規則改正ノ件
 朝鮮鐵道株式會社ニ於テハ同社貨物運賃及料金規則中左ノ通改
 正シ昭和三年三月十日ヨリ實施スル旨通知アリタルニ付連帶ノ
 場合右ニ依ル義ト承知セラルベシ

記

第九條 貨物ノ運賃ハ一口毎ニ之ヲ計算ス

一口トハ貨主及發着驛ヲ同ジク同時託送ノ貨物ニシテ同
 一運送條件ヲ以テ同時運送ヲ要スル一車以内ノ數量ノモノヲ
 謂フ但シ二車以上ニ跨リ積載スル瀾大貨物若ハ玄、白米ヲ標
 記荷重三十噸貨車一輛、同十噸貨車三輛、同五噸貨車六輛ニ
 五百個積載スル場合ハ之ヲ一口ト看做ス
 等級表上品類ヲ異ニスル級外品ニ以上ヲ混ジ又ハ級外品ト其
 ノ他ノ貨物トヲ混ジタル場合ニ於テハ特ニ明記アルモノヲ除
 クノ外一口トシテ之ガ取扱ヲ爲サズ
 第十四條ノ二 玄、白米ヲ標記荷重三十噸貨車一輛、同十噸貨
 車三輛、同五噸貨車六輛ニ付一口トシテ五百個積載シタルト

キハ三十一噸分ノ運賃ヲ收受ス

辭令

鐵道事務ヲ囑託ス 奉天在勤

四方 治
囑託 熊井 辰治

鐵道事務囑託ヲ解ク

(京城運輸事務所)

龍驛 換 雇員 平岡 正

成興驛換車兼信號方ヲ命ス
月給八十六圓五十錢ヲ給ス
二月十三日

(營業課)

各通
備人ヲ命ス 日給九十五錢ヲ給ス
營業課事務助手ヲ命ス
備人ヲ命ス 日給六十六錢ヲ給ス
釜山ステーシヨホンホテル給仕ヲ命ス
以上二月十日

今江 ハル
大川 靜江
柳下 秀子
申 照 敷

(清津出張所)

備人ヲ命ス 日給一圓ヲ給ス
清津機關區警手ヲ命ス
備人ヲ命ス 日給一圓十錢ヲ給ス
清津機關區警手(乙)ヲ命ス
以上二月六日
明川在勤ヲ免ス
明川在勤ヲ命ス
以上二月九日

(釜山運輸事務所)

備人ヲ命ス 日給一圓三十錢ヲ給ス
大邱驛警手ヲ命ス
二月十日
各通
細川驛警手ヲ命ス
新洞驛警手ヲ命ス
釜山驛警手ヲ命ス
昌原驛警手ヲ命ス
以上二月十三日

(釜山工務事務所)

願ニ依リ備人ヲ免ス
二月十日
金保 警 金在
備人 武田 マサヨ

雜錄

●刊行物行政處分ノ件 左記刊行物ハ發賣頒布禁止並押收處分
 ニナリタルニ付注意セラルベシ
 一 奉 天 新 聞 二月九日付 治安妨害
 一 プ ロ レ タ リ ヤ 週 報 二月一日付 治安秩序妨害
 一 全 滿 青 年 運 動 ニ 對 ス ル 聲 言 集 十二月十日付 同
 一 戰 線 ニ ユ ー ス (朝鮮文) 第一號 同
 一 中 外 日 報 二月十日付 同
 一 報 第四五三號 同

●朝鮮線内玄、白米取扱一口五百個三十一噸扱方 本日通第三
 六號ノ通朝鮮鐵道株式會社貨物運賃及料金規則改正セラレタル
 ヲ以テ昭和二年十二月二十八日達第千三百三十六號ニ依ル玄米又
 ハ白米若ハ玄米及白米ニ對スル車扱一口五百個三十一噸扱ハ同
 社狹軌線發着ノ場合ヲモ通ジテ取扱差支ナキ義ト承知セラルベ
 シ

●元山清津連絡船入替
 定期修繕中ノ光濟丸ハ八日元山入港後船平壤丸ハ同日元山著後
 定期修繕ノ爲メ内地回航ニ付平壤丸定期ハ九日元山發以降光濟
 丸ヲ以テ踏襲セシメ一方光濟丸定期ハ代船京城丸ヲ引續キ三月
 八日元山著マデ使用シ以下平壤丸ヲ以テ踏襲ノコトニセル旨朝

鮮郵船株式會社ヨリ通知アリタリ

- 一 不著貨物搜索
- 一 藥材(草根)吸入 一箇 一六二斤
- 右ハ大邱發玉山著二箇口一箇不著ニ付心當リノ向ハ釜山運輸事務所ニ申出ラレタシ

●訂正

明川驛常置信號機位置左記正當ニ付訂正ス

種別	位置(標記)
下り場内	六四、五八、八四、九

●正誤

前號局報收入概算表二月四日分中成鏡北部線貨物噸數「2,271」ハ「2,271」ニ改メ
 日分中成鏡北部線貨物噸數「215」ハ「215」ノ誤
 二月十一日局報號外掲載六十一號中第九條一項運轉時間中之「附屬ハ之ニ附屬」ハ「附屬」ノ誤
 記載心得一項中列車番號「列車ハ、列車番號但シ、列車ノ何レモ誤
 二月十一日通第三三號末尾ニ左記ヲ附ス

●鐵道省告示第二十號

大正十五年七月鐵道省告示第二百二十三號國有鐵道貨物運送規則中左ノ通改正シ昭和三年三月十六日ヨリ之ヲ施行ス
 昭和三年二月一日 鐵道大臣 小川 平吉
 第十六條中「小口扱貨物、特別小口扱貨物及」ヲ「小口扱及特別小口扱貨物ニシテ集貨ヲ爲サザルモノ、」ニ改メ「每箇兩

端ノ下ニ(荷姿同一ノ貨物ニシテ一口相當數ニ上ルモノハ每箇一端)ヲ加フ

第二十條 貨物ノ運送ヲ引受ケ且其ノ引渡ヲ受ケタルトキハ貨物引換證又ハ船荷證券ヲ發行スル場合ヲ除キ貨物通知書ヲ荷送人ニ交付ス

第二十一條ノ貨物通知書様式中左ノ如ク改ム

第一種第二號、第二種第二號及第三種中「(運送人姓名)」ヲ「(運送人)」ニ改ム

第一種第二號及第二種第二號中「(船名)」「(船種)」「(船主)」「(船主住所)」「(船主電話)」「(船主郵便)」「(船主電話)」「(船主郵便)」ヲ削リ第三種中「(船名)」「(船種)」「(船主)」「(船主住所)」「(船主電話)」「(船主郵便)」ヲ削ル

第一種第二號及第三種中注意欄ヲ左ノ如ク改ム

一 本書ハ荷受人ニ送付スルニ及バズ
二 運賃料金支拂方法欄ニハ現拂ハ「1」後拂ハ「2」豫納ハ「3」著拂ハ「4」ト記入ス

第二種第二號中注意欄ニ左記ヲ加ヘ「1」「2」「3」「4」ヲ「1」「2」「3」「4」ニ改ム

一 本書ハ荷受人ニ送付スルニ及バズ

第二十一條ノ二第一項ヲ左ノ如ク改メ第二項ヲ削ル
小口扱又ハ特別小口扱貨物ニシテ集貨スルモノノ運送ヲ引受ケタル場合ニ於テ貨物ト引換ニ貨物通知書ヲ交付シ得ザルトキハ貨物假通知書又ハ之ニ代ルベキエツキノ類ヲ荷送人ニ交付ス但シ他ノ方法ニ依リテ貨物ノ受授明ナルトキハ之ヲ交付セザルコトアルベシ

第七十條ノ二第一項(イ)第五號中「鏡」ノ下ニ「鏡臺」ヲ加ヘ第八號中「樽、桶」ヲ削リ「罐詰食料用」ヲ「石油空罐及罐詰食料

用」ニ改メ同(ロ)第十五號ノ次ニ「十六 荷造用ノ樽、桶」ヲ加ヘ同(ハ)中「更ニ十割ヲ加フ」ヲ「更ニ二十割ヲ加フ」ニ改メ第三號ノ次ニ「四 石油空罐」ヲ加フ

第七十二條ノ二中「十三割」ヲ「十二割」ニ、但書ヲ左ノ如ク改ム但シ噸數ニ依リ運賃ヲ計算スルモノニ對シテハ割増ヲ爲スベキ額ノ最低ヲ運賃計算噸數一噸ニ付五十錢トス

第七十七條中「集貨料ハ」ノ下ニ「特定ムル場合ヲ除キ」ヲ加フ第七十七條ノ二中「配達料ハ」ノ下ニ「特定ムル場合ヲ除キ」ヲ加フ

第九十一條第一項中「運送経路ノ變更」ノ次ニ「貨物發送前ニ於ケル運送列車、連絡船ノ指定又ハ指定ノ取消」ヲ加ヘ「貨物假通知書」ヲ削ル

第九十二條第一號ノ次ニ左ノ如ク加フ
一ノ二 運送列車ノ指定又ハ指定取消ノ場合
既收運賃ト相當運賃トノ差額ノ追徴又ハ拂戻ヲ爲ス

第九十五條第二項第二號中「運送経路ノ變更」ノ次ニ「運送列車ノ指定又ハ指定ノ取消」ヲ加フ

◎達第六七號

大正十五年七月達第五三號國有鐵道貨物運送取扱細則中左ノ通改正シ昭和三年三月十六日ヨリ之ヲ施行ス

昭和三年二月一日 鐵道大臣 小川 平吉

第十四條第一項中「特別小口扱貨物」ノ行ノ次ニ左ノ如ク加ヘ同

第三項中「第二十六條ニ依リ通知書ヲ集貨請負人ニ於テ作成スル貨物ニ附スベキモノ」ニ限リ「ヲ」集貨シタル貨物ニ對シテハ「」ニ改ム

集貨付小口 白地荷札ノ兩面ニ赤ニテ 同但シ横線ハ一條 扱貨物 幅三分ノ横線一條ヲ畫ス トス

第二十四條ノ二 貨物假通知書ハ發驛又ハ請負人ニ於テ之ヲ作成スベシ但シ集貨請負人ハ他ノ方法ニ依リテ貨物ノ受授明ナル場合ニシテ運送ニ付キ特約ヲ要セザルトキ及貨物ニ異狀ナキトキハ之ヲ作成セザルコトヲ得貨物假通知書ノ記載事項ハ品名又ハ荷造、箇數、集貨先及荷送人ノ氏名トス但シ事宜ニ依リ其ノ一部ヲ省略スルコトヲ得

第二十六條中第一項ヲ左ノ如ク改メ第二項ヲ削リ第三項中「第一項」ヲ「前項」ニ改ム

集貨シタル貨物ニ對スル通知書(運送狀ノ提出ヲ要スルモノヲ除ク)ハ集貨請負人ニ於テ之ヲ作成シ其ノ甲片ハ荷送人ニ之ヲ交付シ他ノ各片ハ貨物及關係書類ト共ニ之ヲ發驛ニ提出セシメ所定ニ依リ處理スベシ

第二十七條ノ二中「貨物假通知書ト引換ニシテ」ヲ削ル

第五十五條第九號中「記號及番號」ヲ「員數」ニ改ム

第二百二十三條第一項中「又ハ貨物假通知書」ヲ削ル

●貨物運送規則其ノ他ノ註釋ノ改正ニ就テ(運輸局) 國有鐵道貨物運送規則及同取扱細則ノ註中左ノ通改正シ昭和三年三月十六日ヨリ之ヲ施行ス

一 貨物運送規則
第二十條ノ(註二)ヲ削ル
第二十一條ノ二(註一)ヲ左ノ如ク改メ(註二)ヲ削リ(註三)ヲ(註二)ニ改ム
(註一) 運送ニ付キ特約ヲ要スルトキ及貨物ニ異狀アルトキ